



ルー・ユーライ 藤竜也

赤坂沙世 松本紀保 パオ・リンユ シェリ ヨン・ジョン
塚原大助 浜谷康幸 石田佳央 堺小春 / 占部房子

監督・脚本・編集: 近浦啓

主題歌: テレサ・テン「我見在手ニイ(時の流れに身をまかせ)」(ユニバーサル ミュージック USMジャパン)

エグゼクティブプロデューサー: 近浦啓 ルアン・ジンシン デイン・ジェ プロデューサー: フーウェイ 近浦啓

共同プロデューサー: ナイアン アソシエイトプロデューサー: 三浦仁 堀池みほ

撮影: 山崎裕 照明: 山本浩貴 録音: 張巻裕(S.A.) サラン 美術: 部谷京子 装飾: 河武 スタイリスト: 宮本美利

ヘアメイク: 酒井夢月 音響効果: 伊東晃 助監督: 細野社太 スクリプター: 長坂光 制作担当: 越智喜明

製作: クレイタプス Mystigri Pictures 特別協力: 大石町

制作プロダクション: クレイタプス CREATPS 配給: クロックワークス KLOCKWORKS ©2018 CREATPS / Mystigri Pictures

complicity.movie

コンプリシティ 優しい共犯



この嘘だけは
守りたかった

〈新しい才能に世界が熱狂!〉



技能実習の職場から逃亡、他人になりすまして働きにきた中国人青年と、彼を受け入れる孤独な蕎麦職人。
嘘の上に絆を強める二人を待つものは——? その決断に心震えるヒューマンサスペンス。



この決断をあなたは許せるだろうか?

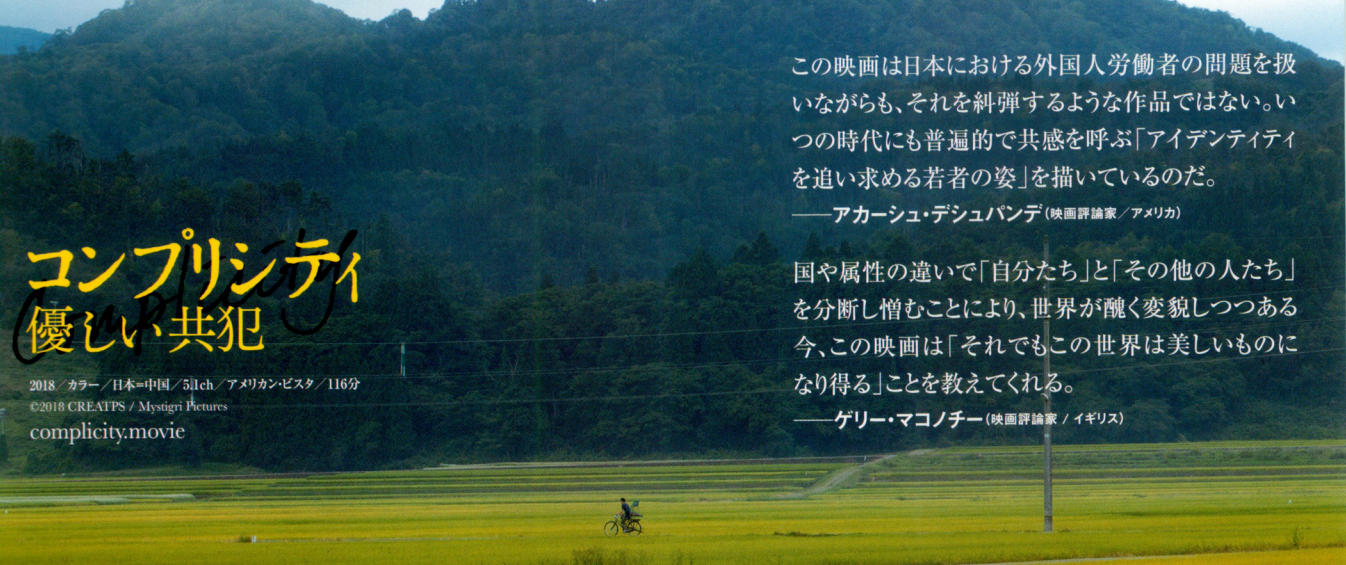
技能実習生として来日するも、劣悪な職場環境から逃げ出し、不法滞在者となってしまった中国人青年チェン・リャン。彼は他人になりすまし、蕎麦屋で働き口を見つける。口数が少なく不器用な蕎麦屋の主人・弘は、実の息子との関係も悪くどこか心に孤独を抱えていた。厳しくも温かい弘の背中に父を重ねるチェン・リャンと、彼の嘘をつゆ知らず情を深めていく弘——二人はまるで親子のような関係を築いていく。しかしはかない嘘の上に築いた幸せは長く続かず、チェン・リャンを追う警察の手が迫り、すべてを清算する日がやってくる。その時、二人はお互いのためにある決断をする——

トロント国際映画祭 正式出品 ベルリン国際映画祭 正式出品 釜山国際映画祭 正式出品 東京フィルメックス 観客賞受賞 グラスゴー国際映画祭 正式出品

世界の映画祭を席捲した、圧巻の長編デビュー作

監督は短編映画『SIGNATURE』が第70回ロカルノ国際映画祭ほかで高い評価を受け、米アカデミー賞公認映画祭であるエンカウンター短編&アニメーション映画祭でグランプリを受賞した近浦啓。本作『コンプリシティ/優しい共犯』は北米最大の映画祭、トロント国際映画祭でワールド・プレミア上映され、続いて釜山、ベルリンと世界の名だたる映画祭へ入選し正式出品。そして厳しい目を持つ映画ファンが集まる東京フィルメックスで観客賞を受賞するという、途轍もない長編デビューとなった。

主演は、第55回ベルリン国際映画祭にて銀熊賞受賞の「孔雀——我が家の風景——」でデビューした中国人俳優ルー・ユーライ。常にどこか寂しさを感じさせる瞳と危うげな存在感で、どこにいても自分の存在を確立できない主人公の青年チェン・リャンの哀しみを観客に訴えかける。そしてチェン・リャンの、時に厳しい上司であり時に優しい父のような存在である厳格な蕎麦屋の主人・弘を、日本を代表する名優・藤竜也が見事に演じている。



コンプリシティ 優しい共犯

2018 / カラー / 日本・中国 / 51ch / アメリカンビスタ / 116分
©2018 CREATPS / Mystigri Pictures
complicity.movie

この映画は日本における外国人労働者の問題を扱いながらも、それを糾弾するような作品ではない。いつの時代にも普遍的で共感を呼ぶ「アイデンティティを追い求める若者の姿」を描いているのだ。
——アカーシュ・デシュバンデ (映画評論家 / アメリカ)

国や属性の違いで「自分たち」と「その他の人たち」を分断し憎むことにより、世界が醜く変貌しつつある今、この映画は「それでもこの世界は美しいものになり得る」ことを教えてくれる。
——ゲリー・マコノチー (映画評論家 / イギリス)



2020年1月17日(金)ロードショー
特別鑑賞券1,400円(税込) 絶賛発売中! 当日一般1800円のところ

JR新宿駅中央東口 ビックロ裏 武蔵野ビル3F
新宿武蔵野館
03 (3354) 5670
shinjuku.musashino-k.jp/